



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東 札

上場会社名 ナラサキ産業株式会社  
コード番号 8085 URL <http://www.narasaki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 克久  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 毎原 吉紀

TEL 03-6732-7355

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	41,598	△5.7	617	10.3	675	22.4	415	21.3
28年3月期第2四半期	44,104	△4.8	559	20.7	552	20.3	342	△49.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 453百万円 (21.7%) 28年3月期第2四半期 372百万円 (△51.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	15.81	—
28年3月期第2四半期	12.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	41,869	11,387	26.4
28年3月期	44,992	11,131	24.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 11,066百万円 28年3月期 10,820百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	6.4	2,200	13.9	2,100	9.8	1,200	16.8	45.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	26,628,000 株	28年3月期	26,628,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	340,314 株	28年3月期	398,813 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	26,260,520 株	28年3月期2Q	26,377,175 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成28年5月13日に公表しました業績予想に変更はございません。  
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境には改善傾向が見られたものの、円高の進行や新興国経済の減速による企業収益の悪化、設備投資の伸び悩みなど先行きの不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループはグループ総合力を発揮し、収益力の強化、財務体質の改善等に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は415億98百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益は6億17百万円（前年同期比10.3%増）、経常利益は6億75百万円（前年同期比22.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億15百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

## (電機関連事業)

電機関連事業では、生産設備関連におけるレーザ加工機や建築設備関連の空調冷熱設備の受渡しが好調であり、またFA機器製品の販売も堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は111億63百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は4億28百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

## (機械関連事業)

機械関連事業では、産業機械において食品機械関連設備が好調に推移するとともに、農業施設において穀類等貯蔵施設工事などが堅調であり、前年同期比で大幅な増収およびセグメント損益の改善となりました。

以上の結果、売上高は37億18百万円（前年同期比47.9%増）、セグメント利益は12百万円（前年同期はセグメント損失1億91百万円）となりました。

## (建材・燃料関連事業)

建材事業では、北海道地区において杭関連の受注・受渡しが堅調に推移したものの、首都圏における民間工事の着工遅れや官庁工事の減少により苦戦致しました。

燃料事業では、SS（サービスステーション）でのガソリン販売は市況悪化により競争が激しく、収益面では厳しい状況が続きました。

以上の結果、売上高は171億5百万円（前年同期比16.4%減）、セグメント利益は13百万円（前年同期比75.4%減）となりました。

## (海運関連事業)

連結子会社のナラサキスタックス(株)では、輸入炭の取扱いが好調であったものの、鋼材・木材・セメントなど建設資材の取扱いは低調な推移となりました。

以上の結果、売上高は79億58百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益は2億5百万円（前年同期比23.1%減）となりました。

## (建設機械関連事業)

建設機械関連事業では、コンクリートポンプ車の販売は堅調であったものの、道路工事量が減少し物件の引合・受注が低調であったこと等により大幅な減収となりました。

以上の結果、売上高は16億52百万円（前年同期比32.7%減）、セグメント利益は38百万円（前年同期比62.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は418億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億23百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少35億62百万円であります。

負債は304億82百万円となり、前連結会計年度末と比べ33億78百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少31億13百万円、借入金の減少7億22百万円であります。

純資産は113億87百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億55百万円の増加となりました。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.3ポイント増加し、26.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は65億44百万円(前年同期は61億97百万円)となり、前連結会計年度末に比べて2億35百万円の増加となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、13億78百万円の収入(前年同期は7億24百万円の収入)となりました。主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益6億54百万円、売上債権の減少額35億62百万円、減価償却費2億93百万円、主な支出項目は、仕入債務の減少額31億13百万円、法人税等の支払額80百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億23百万円の支出(前年同期は1億90百万円の支出)となりました。主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出1億33百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、10億18百万円の支出(前年同期は6億10百万円の支出)となりました。主な支出項目は、借入金の純減少額7億22百万円、配当金の支払額2億11百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました内容から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,328	6,576
受取手形及び売掛金	22,697	19,134
商品及び製品	673	656
原材料及び貯蔵品	19	24
その他	1,522	1,689
貸倒引当金	△12	△9
流動資産合計	31,230	28,071
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,740	5,706
その他(純額)	3,516	3,419
有形固定資産合計	9,257	9,125
無形固定資産		
	134	325
投資その他の資産		
その他	4,378	4,354
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,370	4,346
固定資産合計	13,762	13,797
資産合計	44,992	41,869

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,182	19,068
短期借入金	2,000	1,700
1年内返済予定の長期借入金	1,750	1,510
未払法人税等	314	269
賞与引当金	357	328
工事損失引当金	44	44
その他	1,403	1,818
流動負債合計	28,052	24,740
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	1,985	1,802
役員退職慰労引当金	17	-
特別修繕引当金	53	65
退職給付に係る負債	1,178	1,142
損害賠償引当金	315	-
その他	2,058	2,530
固定負債合計	5,808	5,741
負債合計	33,861	30,482
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,288	1,288
利益剰余金	6,997	7,200
自己株式	△115	△97
株主資本合計	10,524	10,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	283	284
繰延ヘッジ損益	△2	△2
退職給付に係る調整累計額	14	38
その他の包括利益累計額合計	295	320
非支配株主持分	310	320
純資産合計	11,131	11,387
負債純資産合計	44,992	41,869

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	44,104	41,598
売上原価	40,025	37,307
売上総利益	4,078	4,290
販売費及び一般管理費	3,519	3,673
営業利益	559	617
営業外収益		
受取利息	6	3
受取配当金	24	41
受取賃貸料	34	34
持分法による投資利益	6	8
厚生年金基金解散損失戻入益	—	75
その他	12	12
営業外収益合計	85	176
営業外費用		
支払利息	56	56
損害賠償金	—	25
その他	36	35
営業外費用合計	92	117
経常利益	552	675
特別利益		
固定資産売却益	—	7
特別利益合計	—	7
特別損失		
減損損失	—	29
特別損失合計	—	29
税金等調整前四半期純利益	552	654
法人税、住民税及び事業税	120	225
法人税等調整額	76	△0
法人税等合計	196	225
四半期純利益	355	428
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	342	415



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	355	428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	0
繰延ヘッジ損益	△2	△0
退職給付に係る調整額	11	24
その他の包括利益合計	17	24
四半期包括利益	372	453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	360	439
非支配株主に係る四半期包括利益	12	14

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	552	654
減価償却費	275	293
長期前払費用償却額	3	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45	△29
退職給付に係る資産負債の増減額	1	△5
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△73	△5
受取利息及び受取配当金	△31	△45
支払利息	56	56
持分法による投資損益 (△は益)	△6	△8
固定資産処分損益 (△は益)	—	△8
減損損失	—	29
損害賠償金	—	25
売上債権の増減額 (△は増加)	1,476	3,562
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△35	11
仕入債務の増減額 (△は減少)	△502	△3,113
その他	△364	11
小計	1,307	1,430
利息及び配当金の受取額	35	49
利息の支払額	△57	△57
保険金の受取額	—	41
法人税等の支払額	△502	△80
その他	△57	△5
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>724</b>	<b>1,378</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△151	△133
有形固定資産の売却による収入	0	22
投資有価証券の取得による支出	△47	△3
貸付けによる支出	△4	△2
貸付金の回収による収入	4	4
その他	8	△10
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△190</b>	<b>△123</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400	△300
長期借入れによる収入	1,220	650
長期借入金の返済による支出	△1,063	△1,072
自己株式の売却による収入	31	18
自己株式の取得による支出	△119	△0
配当金の支払額	△183	△207
非支配株主への配当金の支払額	△4	△4
その他	△90	△102
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△610</b>	<b>△1,018</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△77	235
現金及び現金同等物の期首残高	6,274	6,309
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,197	6,544

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	10,442	2,514	20,453	8,237	2,456	44,104	—	44,104
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	276	3	21	301	△301	—
計	10,442	2,514	20,730	8,240	2,477	44,405	△301	44,104
セグメント利益又は セグメント損失(△)	419	△191	54	267	103	653	△94	559

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△97百万円、セグメント間取引消去額3百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	11,163	3,718	17,105	7,958	1,652	41,598	—	41,598
セグメント間の内部 売上高又は振替高	76	0	182	5	—	263	△263	—
計	11,239	3,718	17,288	7,963	1,652	41,862	△263	41,598
セグメント利益	428	12	13	205	38	698	△81	617

(注)1 セグメント利益の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△80百万円、セグメント間取引消去額△1百万円が含まれております。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。